



観光業界に新たな収益を生み出す” **Tebura** ”

～ ブロックチェーン技術による分散型ソリューション ～

Tebura が目指す未来

Teburaという名前は「手ぶらで観光が出来るようにしたい」という願いに由来しています。

片手が空けば、手を繋げます

共に旅する人を助ける事ができます。

「荷物が少なければ. . .」というネガティブな体験がなくなる事を

Tebura は目指しています。

Teburaが作るネットワークと 観光業界に提供するもの

世界中で素晴らしい旅行体験を提供するために、自主的に手ぶら観光を普及させるネットワークを構築したいと考えています。

そのために、非営利型の一般社団法人手ぶら観光協会を設立し、地方行政や地域経済と協働する体制をとります。また、協働相手に手ぶら観光に関するソフトウェアの無料開放を行います。



Tebura のミッション

旅行者、観光業者ともに、素晴らしい旅行環境を実現するためには、旅行者の行く先々で、地元の皆様のご協力が不可欠です。手荷物預かりに限らず、地元の皆様のご協力なしで素晴らしい旅を実現することは、恐らくできないでしょう。旅行者の食事や宿泊、移動、ガイドはもちろん、トラブル時のサポート、笑顔のある交流といった思い出など、地元の皆様が旅行者を快くご支援頂けるような仕組みの構築が必要です。Teburaの次のミッションは、以下の通りです。

“ 観光地において、地元の皆様と旅行者が対等な立場で協力し、素晴らしい旅行環境と旅行体験を実現するために必要な仕組みを構築する。ここから地域経済の活性化や新たな経済面の創出に繋げていく ”

このミッションを達成するために、これからも邁進して参ります。

Tebura プロジェクト最高責任者 高木 昭博

メディア掲載実績や受賞歴

/メディア掲載/

年商100億目指し、企業がプレゼンバトル!



日本テレビ系全国ネットニュース
番組「news every.」にて紹介



読売テレビ制作番組「百億上ル」
宣伝会議・田中編集長の一押しプロジェクト
(2017年4月9日放送)



ビットコインの神と言
われるロジャー・バー
の書籍
『世界は逆転する!
仮想通貨サービス
・ICOで世界を変える』
での掲載!



サンフランシスコの
FINTECHにてICOセミ
ナーを開催。その時
の様子を現地のメデ
ィアに取り上げられま
した!

ビジネスコンテスト 受賞歴



Business Contest Award Records

- マサチューセッツ工科大学日本フォーラム (MIT-VFJ) ビジネスプランコンテスト優秀賞受賞
- Slush Tokyo 2017 セミファイナル進出
- SAMURAI EXPO 2017 MicroSoft 賞受賞
- Echelon Top100 選出

行政からのビジネス支援実績

1

大阪市ベンチャー支援プログラム OSAP 採択



一般社団法人手ぶら観光協会

2

神戸市ベンチャー支援プログラム Kobe Global Startup Gateway 採択



Tebura Team

Tebura観光サービスを実施している高木をはじめ、ブロックチェーン技術者、投資家、ICO 実績者など、国際的で優秀なチームでTeburaをつくっています。



高木 昭博 / Teburaプロジェクト最高責任者

株式会社セームページ代表兼tebura忍者
一般社団法人手ぶら観光協会代表理事

独学で英語、プログラミングを習得し、2013年にバングラデシュでIT会社を起業。
2016年8月より世界初の荷物預かりサービスTeburaを開始。
同プログラムにて、マサチューセッツ工科大学WARD 優秀賞、サムライエキスポ
2017マイクロソフト賞などを受賞。



石原 玲一 / パートナー

株式会社電縁 取締役

コンサルティング事業立上、全社業績管理、各種制度構築などに取り組む。ブロックチェーン関連事業の立上として、ブロックチェーン利用システムの構築、実証実験支援の受託、自社開発のブロックチェーン安否確認サービス「getherd」の展開を推進中。



Colin Magne / パートナー

事業家 兼 投資家

フランス出身。スタートアップとしてIPO(新規上場株式)の経験する。現在は独立し、日本の伝統工芸など幅広い事業に関心を持ち、エンジェル投資家として活動しながら、仮想通貨関連の投資や事業に積極的にエネルギーを注いでいる。



佐藤 庸介 / パートナー

ベルギービールダイニングサンタルヌー代表

自身が経営するベルギービール専門店が仮想通貨による実店舗商取引などにより仮想通貨の聖地”と呼ばれている。
2017年世界初のICOによる実店舗の東京進出を果たした、日本での数少ないICOの成功者の一人。



峯岸 秀幸 / パートナー

公認会計士・税理士

慶應義塾大学商学部を卒業後、中堅監査法人及び大手外資系税理士法人勤務を経て、現在は税理士法人峯岸パートナーズの代表社員として中小企業及び資産家を対象にした税務サービスを提供している。今も研鑽を続ける税法務の専門性を活かしたサービスを旨とする。



赤澤 正純 / パートナー

一般社団法人ブロックチェーン開発者協会 理事長

金融機関のシステム開発に20年近く従事し、200個以上のプロダクトを開発した。日本のフィンテック業界の推進において開発者が課題であると感じ、ブロックチェーン開発者協会を2017年に設立。



小沼 魁 / パートナー

株式会社電縁
ブロックチェーンDeveloper

- ・保険契約ブロックチェーン実証実験設計開発
- ・安否確認サービス設計開発
- ・ブロックチェーンシステム開発講座の講師



高木 加七絵

株式会社セームページ
Tebura忍者 リードデザイナー

イーサリウム上で独自仮想通貨「カナエコイン」を発行している。七つそろうと夢がかなうとされている。



Xena Xu ジーナ・スー

中国へのマーケティングおよび翻訳

ENESYS2.0 2016 2017 通訳者、
日本語N1取得済み



Tanvir Chowdhury

タンビル・チョードリー

株式会社SamePage

Bangladesh現地法人アシスタントマネージャー



Mehidi Hasan

メヒディ・ハッサン

株式会社SamePage

UI/UX開発者



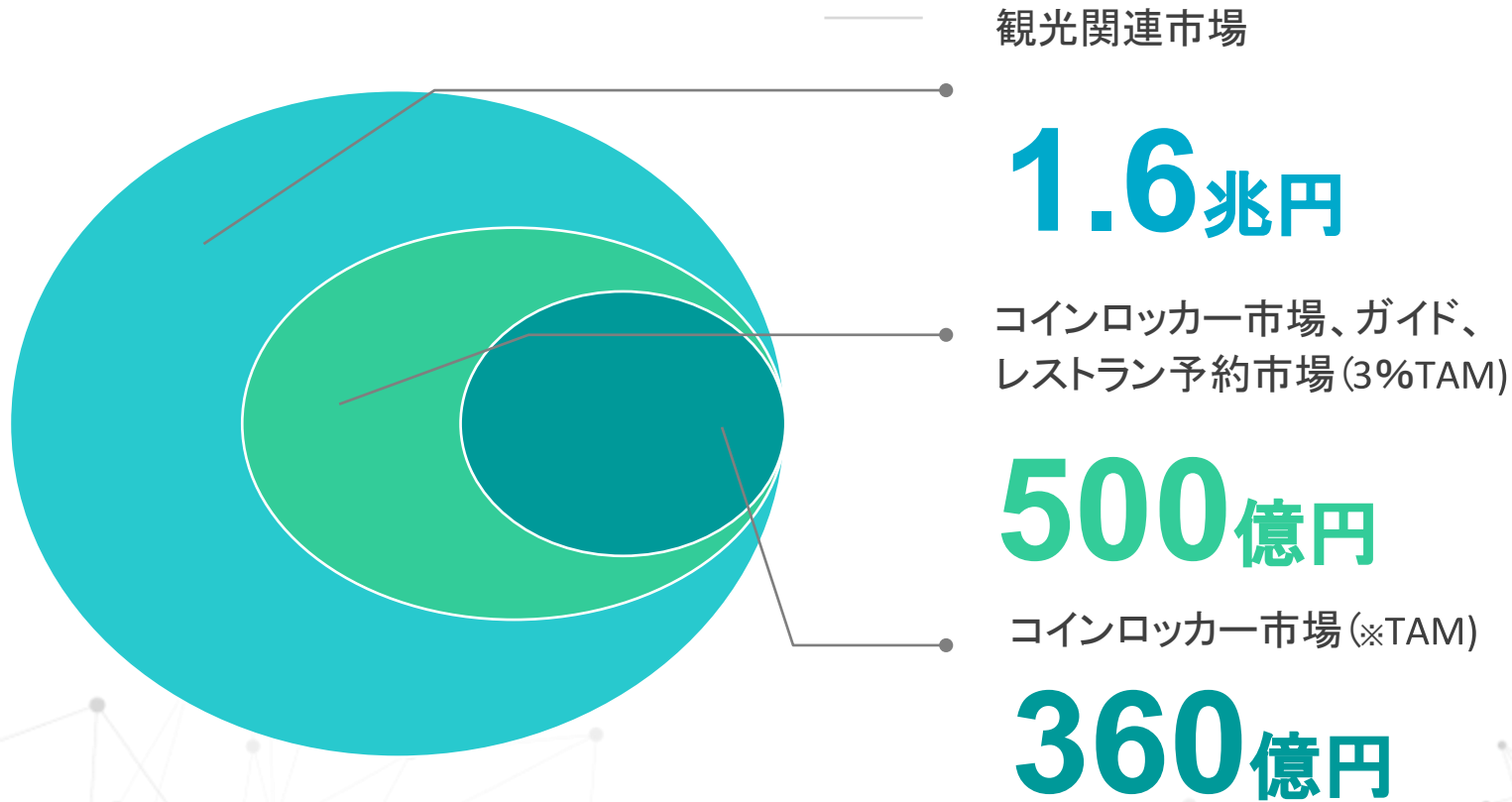
Asma Akter

アスマ・アクテル

株式会社SamePage

Webデザイナー

Teburaの市場規模

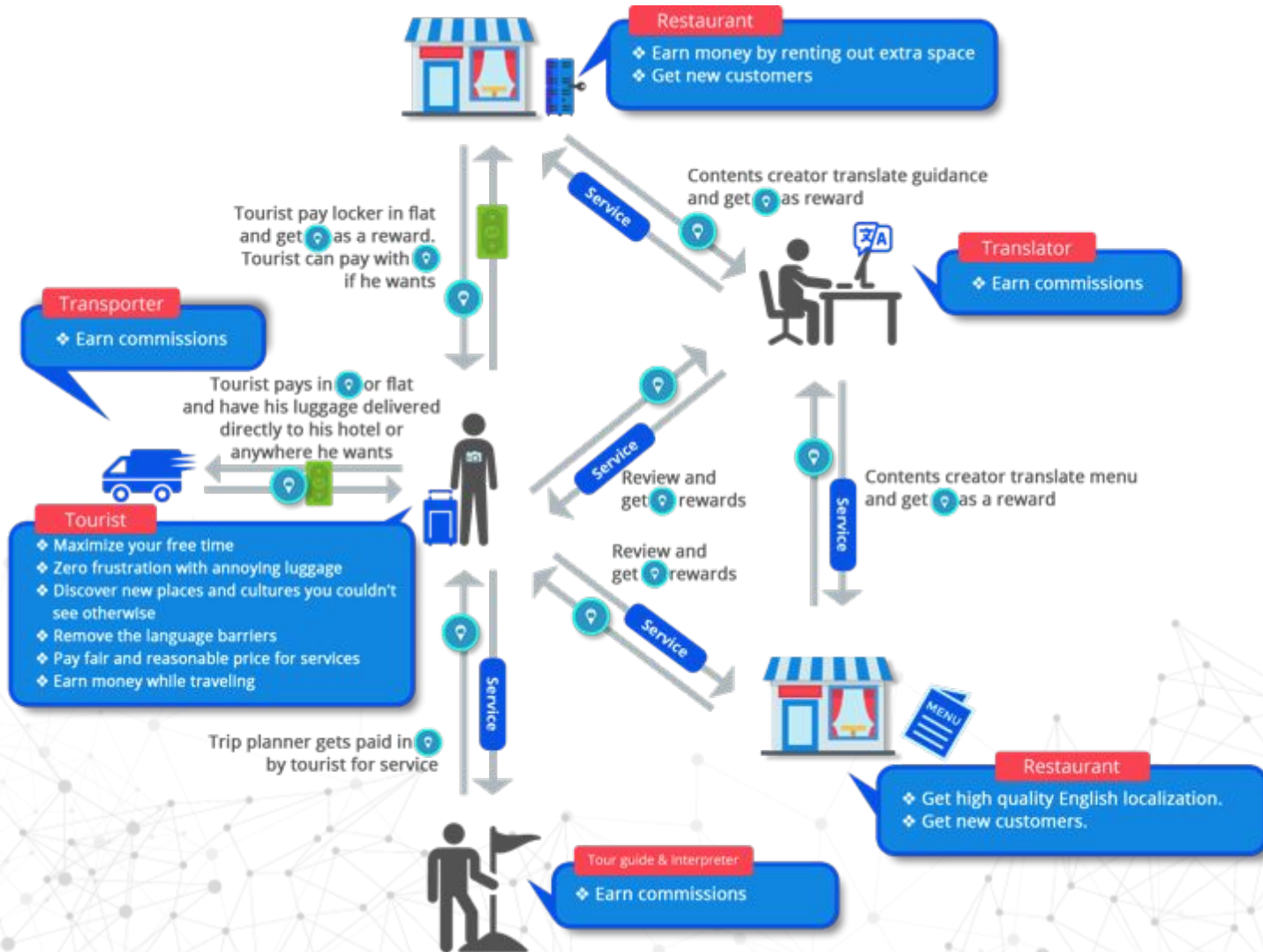


日本国内における観光関連市場は1.6兆円あり、そのうちコインロッカー市場は360億円あります。

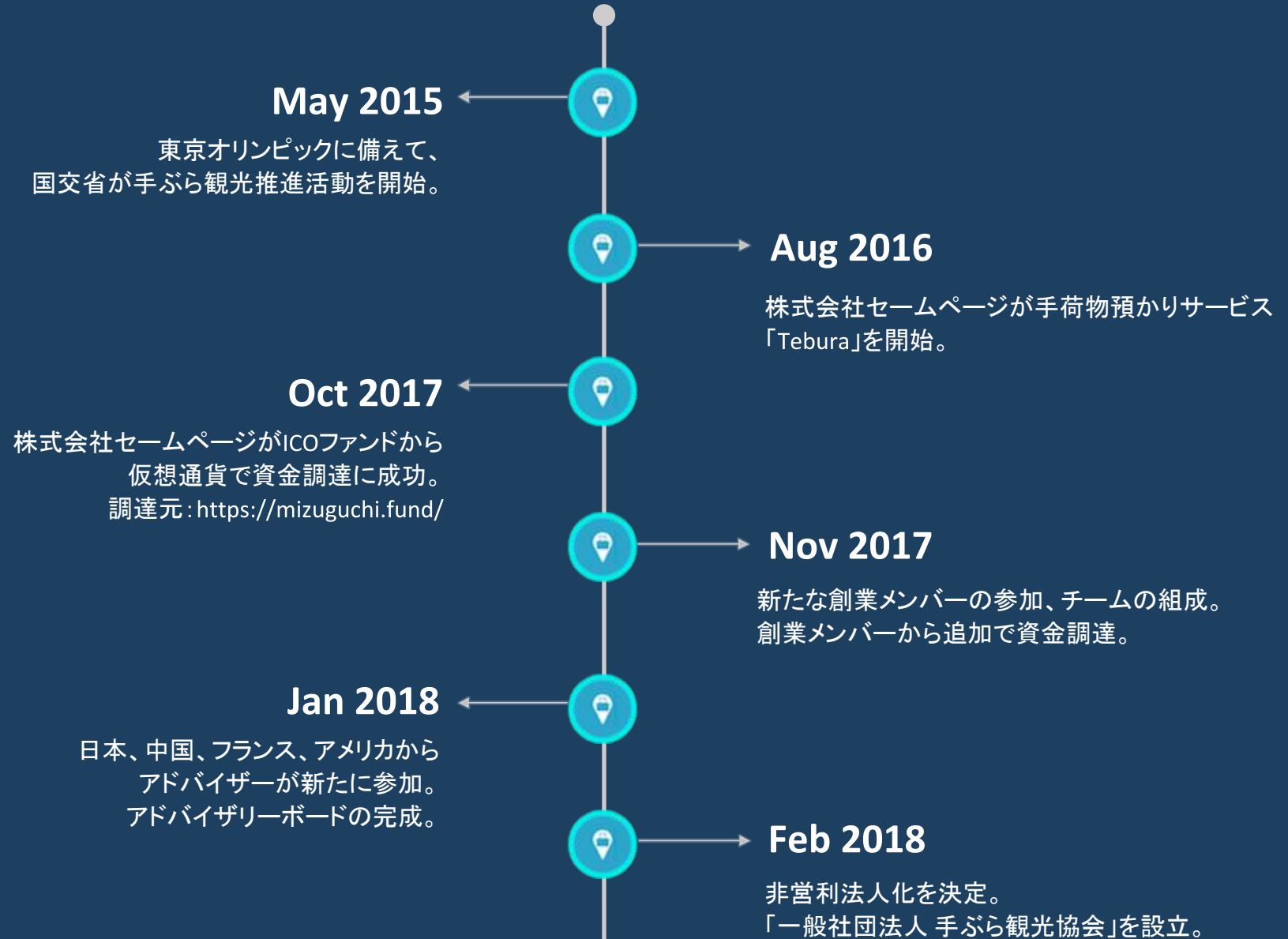
Teburaはコインロッカー市場の5%となる18億円の市場獲得をめざします。

※ TAM=Total Available Market 実現可能な最大の市場規模

TOKEN ビジネスチャート



Rordmap



Mar 2018 ←

新ウェブサイトを公開
新しいホワイトペーパー(2.0)を公開
Google Nonprofit登録完了
Googleから非営利法人向け支援を受ける
仮想通貨の聖地、東京赤坂サントナル
にてミートアップを開催。満員御礼
コミュニティメンバーによる業務推進を加速



→ Apr 2018

Telegramチャンネルでのニュース配信開始
Telegramグループの一般公開
Teburaネットワーク上で利用される
「\$NC ニンジャコイン」の発行
招待制ホワイトリストプレセール開催



← May 2018

ホワイトペーパー(3.0)を公開
Bounty キャンペーンの開始
定期的なMeetupの開催



→ June 2018

ブロックチェーン関連システム開発
スマートコントラクト契約システム
Airdrop専用配布システム など
ICOダッシュボードの発表
Airdrop参加者へNinjaCoinの配布開始



← July 2018

ICO サポートサービスのリリース
ICOサポートサービス3件の受注
国内ウォレット会社との提携
中国マーケットへの参入



→ Sep 2018

日本でのパブリックセールを計画中
(国内法準拠)



← Oct 2018

分散型P2P観光サービス提供プラットフォーム
のMVPリリース。
パブリックセール後の詳細な開発計画のリリース





トークンの使用用途について(予定)

1



手荷物預かりサービス

Tebura が提供する
手荷物預かりサービス

2



観光関連サービス

Teburaが今後提供する
観光関連サービス

3



ICO支援サービス

既にICOを成功させた経験
や世界的に影響のある
仮想通貨のマーケティング
など経験豊富なメンバーに
よる支援サービス

ICO(イニシャルコインオファリング) についてのTeburaのスタンス

01

非営利法人化

Teburaが作るネットワークを語る上で、ブロックチェーンの活用以外に、もう一つ重要なポイントがあります。

Teburaはこれまで株式会社セームページの収益事業として運営しておりましたが、一般社団法人手ぶら観光協会を立ち上げ、非営利組織として運営して参ります。

ネットワーク、ソフトウェアの無料開放



今後、当社が中心になって構築するネットワークは無償で開放され、開発するソフトウェアは原則無償で、誰もが無料でダウンロードし利用することができるようになります。

得られる資金は非営利組織運営に活用



販売するトークンによって得られる資金は全て、今後Teburaシステムの開発、営業やマーケティング、広告活動などを中心に非営利組織の運営に活用します。

なぜ非営利化するのか

◇ 利益追求ではなくミッションの達成のため

Teburaを非営利化する目的は、利害関係が生じる相手を少しでも減らすためです。利益を追求するのではなく「素晴らしい旅行環境を構築する為に自主的に活性化・成長するネットワークを構築する」という、ミッションを追求したい。そのために、より多くの方々と協力、協働できる体制にすることが第一の目的です。

◇ 協力者への還元を増やすため

第二の目的は、協力してくれる方々へより多くの利益を還元する事です。Teburaが構築するネットワークを無償で開放し、開発するソフトウェアを無償で提供すること、そして提供したソフトウェアを使って協力者が稼いだ収益を、できる限り協力者に還元したいと考えています。

02

日本法人として国内でICO成功を目指して、日本国内へ納税する

現在、日本では 様々な規制が設けられたことによって、ICO(イニシャルコインオファリング)を行うことが難しくなっています。本来、低コストで民主的に実施できる資金調達手段が、詐欺的なプロジェクトの蔓延によって、外部の監査や審査等が必要になり、資金力のないベンチャー企業にとって実施することが困難になってしまいました。

規制のない外国で法人を作り ICOを行った方が、規制の厳しい日本国内で行うよりもリスクやハードルも少なくなります。

しかしながらTeburaでは、国内で日本法人として ICOを行う事を大切にしています。Teburaは日本で生まれ、様々な人に支えられてここまで事業を進める事ができました。

日本や社会に対して少しでも恩返しができるようにこの国でICOを実現することで日本に納税を行い、**「資金力のないベンチャー企業や起業家でも社会へ貢献する事ができる健全なICO」**の実例の一つとなる事で、経済への貢献を果たしたいと考えております。私たちはメンバーの顔、本名の公開はもちろん、情報の積極的な開示を行います。



ICO(イニシャルコインオファリング) についてのTeburaのスタンス

03

フェアであり納得ができる投資



トークン時価総額の明示と説明

トークンの販売の時点で、トークンの価格は、なぜ妥当だと考えるのかきちんとご説明をした上で、価格を明示します。



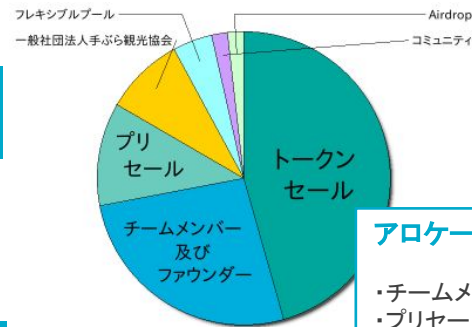
トークン配分の公開

発行されたトークンが、誰にいくらでどのように、販売/分配されたのかを公開します。



返金対応

Teburaから直接トークンをご購入頂いた場合は、購入後8日以内のキャンセルをお申込み頂ければ全額を返金させていただきます。
また行政指導若しくは法令、又はこれらに基づく措置によりNinjaCoinの販売が不可能となった場合、購入者に対して当協会の裁量によりNinjaCoinの対価についてご返金いたします。



アロケーションの表現

- ・チームメンバー及びファウンダー...13%
 - ・プリセール...13%
 - ・トークンセール...52%
(ラウンド毎に徐々に売却して、シリーズEまでを想定)
 - ・一般社団法人手ぶら観光協会...10%
 - ・コミュニティ...2%
 - ・Airdrop...2%
 - ・フレキシブルプール...5%
- 小数点以下は切り捨て

※ファウンダーはTeburaを営利企業として運営していた
(株)セームページを含む

※フレキシブルプールは優秀な人材やパートナーの獲得を含む戦略的使用

ICO事業者向け NinjaCoinで受けることができる(予定)ICOサポートサービス

1

独自トークン発行やシステム開発支援

※金額は、ニーズによって変更になる場合があります。

・ERC20トークン作成支援:50万円

Teburaと同じEathriumブロックチェーン規格のトークンにて御社の独自トークンの発行を行うことができます。

・Eathriumアドレス取得支援:10万円

・ERC20トークンの決済組込技術支援:ASK

貴社のビジネス上で実際にトークンでの支払いが可能になるように決済システムの技術支援をいたします。

・スマートコントラクト機能の実装支援:ASK

・Dapps及びウェブアプリケーション開発:ASK

・日本語、英語LP作成 100万円

Teburaを運営する株式会社セームページはホームページ作成業務を専門としています。

・アフィリエイト支援(システム提供/コンサルティング):ASK

ICO事業者向け NinjaCoinで受けることができる(予定)ICOサポートサービス

2

ICO 実施支援業務

※金額は、ニーズによって変更になる場合があります。

・ICOデューデリジェンス(基本調査/プロジェクト代表者への質問/レポート作成) : 100万円(納期2週間)

御社のICOプロジェクトの査定を行います。

・ICOコンサルティング(ホワイトペーパー/法律/税務/マーケティング等) : 4万円/時間

ICO経験者、マーケティング経験者やICOに詳しい税理士や弁護士を擁するTeburaがコンサルティングを行います。

・コンテンツマーケティング支援(企画記事作成/翻訳)

■ 企画 : @8,000円/h ■ 記事 : @5円/文字 ■ 翻訳 : 30円/word

貴社の持っているサービスや商品のコンテンツがICOに有効な働きかけを与えるように支援します。
企画の提案からブログ、SNSなどのメディア拡散にあたる幅広いサポートを行うことが可能です。

・ICOダッシュボード提供 : 100万円

ICOを実施するにあたり、専用のユーザー登録、ログイン、暗号通貨受入システムの構築を行います。

ICO事業者向け NinjaCoinで受けることができる(予定)ICOサポートサービス

3

ICOマーケティング関係の支援業務

※金額は、ニーズによって変更になる場合があります。

- ・Twitterでの拡散協力(フォロワー数で課金):5円@フォロワー
ICOプロジェクトのプロモーションの手段の一つとして ICOに特化したTwitterでの情報拡散をご提案していきます。
- ・Teburaミートアップでの登壇機会提供: 5万円
Teburaが開催するミートアップで登壇していただけます。
- ・2ちゃんねるでのICOスレッドの管理/運用: 40万円/週
- ・Telegram等運用支援: 60万円/週(24H対応の場合)
ICOを行うにあたって理想的なメディアのひとつである Telegramの運用支援を行います。
- ・Bitcoinトーク等でのDM送信代行: 10万円/10,000通
- ・Teburaが実施したICOマーケティングのパフォーマンスレポート提供: 10万円
- ・代表高木によるプレゼンテーションの指導メンタリング: 10万円/時間
代表の高木は国内外問わずミートアップやコンテストスピーチなどの経験が豊富です。
- ・日本の暗号通貨インフルエンサーリスト提供: 150万円

プライベートセールのご案内①

プライベートセール実施の理由

現在、日本は不特定多数の方に仮想通貨に該当するトークンを販売するためには資格を有する仮想通貨取扱い業者を通じて販売を行うか、自らが仮想通貨交換業を取得する必要があります。

Teburaは将来的により多くの方にトークンを購入して頂く機会を設けるために、パブリックセールを行う予定です。しかしながらプロジェクトをより早く進める為にこの度プライベートセールを実施し資金調達を行うことを決定致しました

プライベートセール



パブリックセール



開発の進捗に合わせて追加セール
や配布の実施(方法は未定)



プライベートセールのご案内②

プライベートプレセールの販売要項

【プライベートセール】

単価：0.4円/枚

ボーナス：50%

ボリュームボーナス：10% 1000万円以上の購入

ロックアップ(指定期間後に配布)：払込日から6ヶ月間

最低購入金額：100万円

最高購入金額：2000万円

ハードキャップ：8000万円

想定時価総額：約8億円

【ホワイトリストセール】

単価：0.4円/枚

ボーナス：40%

ロックアップ(指定期間後に配布)：払込日から3ヶ月間

最低購入金額：2万円

最高購入金額：99万円

ハードキャップ：2000万円

想定時価総額：約8.5億円

プライベートセールのご案内③

トークン時価総額(評価額)について

プライベートセール時にTeburaのトークン時価総額(評価額)は8億円に設定しています。
この評価額は通常以下の計算式で算出されます。

総発行予定トークン数 × トークン設定単価(または時価総額) = 評価額

Teburaは3,000,000,000枚のNC(ニンジャコイン)を発行する予定です。そして、当社は8億円の評価額を設定していますので、設定単価は0.26円(小数点第3位以下切り捨て)となります。

一般にブロックチェーンプロジェクトのトークンの時価総額(評価額)を時価総額以外で、合理的に算出する方法はまだ確立されておりません。そこで、当社は時価総額(評価額)を、日本でICOを実施して、既に時価によって時価総額(評価額)の算出が可能な他プロジェクトと比較し、算出しています。

例①: ALIS : 30億円 (総発行予定トークン数 7,500万ALIS × 時価 40円/JPY)

例②: QASH: 700億円 (総発行予定トークン数 10億QASH × 時価 70円/JPY)

例③: ZILLA: 7.8億円 (総発行予定トークン数 6,000万ZLA × 時価 13円/JPY)

※価格はコインマーケットキャップ3/21時点を参照

トークンの配分予定

◆ トークン販売の割合 : 68.85%

[内訳]

- エンジェル投資家への販売 : 0.68 %
- プライベートセールによる販売 : 10.00 %
- ホワイトリストによる販売 : 2.33 %
- ICOによる販売 : 8.33 %
- 次のステージへの準備金 : 47.50 %

ニンジャコイン

トークン名 : NinjaCoin (NC)

◆ Teburaプロジェクトチーム : 15.01%

[内訳]

- 創業者とパートナー : 13.30%
- スtockオプションプール : 1.85%

◆ 手ぶら観光協会 : 10% 観光事業の将来のパートナー会社や店舗の発展のために使われます。

◆ 手ぶら観光協プロモーション活動による配布(バウンティキャンペーン) : 2 %

- プライベートセール時のバウンティボーナス : 1% → プライベートおよびホワイトリストセールのマーケティングキャンペーン活動として一般ユーザーに配布されます
- トークンセール時のバウンティボーナス配布 : 1% → トークンセールのマーケティングキャンペーン活動として参加して頂いた一般ユーザーへ配布されます。

◆ インセンティブエアードロップ : 4%

- 将来的にTeburaサービス、観光事業発展を促進するために参加して頂く観光事業者や旅行者へインセンティブとして配布されます。

◆ エンジェル投資家ラウンド:現在は終了致しました。

トークンの0.68%は、ICOプロジェクトを行うために、初期段階で資金を投入したエンジェル投資家に割り当てられています。

◆ プライベートセール、ホワイトリストセール、パブリックトークンセール

2億円(予定)の資金調達を行うために、18.31%のトークンを販売をします。
パブリックトークンセール時の時価総額は、12億円を設定しています。
プライベート及びホワイトリストセールは共に、先着順での販売となります。

◆ 次のステージ予定(2019年以降)

(社)手ぶら観光協会は、観光業界の発展や提携起業や店舗の業務促進を継続するための資金が必要となります。将来的な段階を踏まえて、トークンの内の50%は販売をせずに必要となる適切な時期に販売を行います。しかし、従来のビジネスモデルとは異なり、我々はTeburaのプラットフォームを中心とした非営利形式の自立分散型ネットワークの構築とアプリケーションの無償提供を目指しています。

◆ マーケティングへの取組み

我々はTeburaの社会への認知度の向上を図るため日本のソーシャルメディアのインフルエンサーリストの購入を行いました。600名へプロモーション業務依頼する予定です。
こちらのプロモーション予算は100万円程を予定しております。
必要に応じて予算を割り当てていく予定です。



Teбura TOKEN

一般社団法人手ぶら観光協会

ADDRESS

〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-2
日本ビル 12階 BUSINESS HUB(ビジネスハブ)

<https://www.facebook.com/teburaninja/>



<https://twitter.com/samepage33>



info@g.tebura.ninja

